

1 経営の基本方針

当社は、「病気と苦痛に対する人間の戦いのために」という経営理念のもと、未だ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる独創的な新薬開発を目指し、特定分野に特化した研究開発型国際製薬企業の実現に向けて積極的な努力を続けています。

また、人の生命に関わる医薬品を取り扱う製薬企業としての責任を深く自覚し、法令遵守はもとより高い倫理観に基づき行動するべく、コンプライアンスの一層の強化に努めています。

研究面におきましては、これまで培ってきた当社の技術やノウハウを活かし、今後とも当社の強みを発揮できる領域やバイオ医薬品など当社が保有する遺伝子資産を有効に活用できる領域での医薬品創製を進めるとともに、医療現場の未だ満たされていないニーズに即した医薬品創製にも積極的に取り組んでいます。

また、欧米のバイオベンチャーとの創薬提携や大学など研究機関との研究提携を強力に推進することにより、画期的な創薬シーズや世界最先端

の技術を取り込み、当社の創薬研究を推進しています。

開発面におきましては、世界に通用する新薬の承認取得を目指し、欧米での承認取得をファーストプライオリティ(最優先)として、海外での臨床開発に積極的に取り組んでいます。

また、国内での開発につきましては、開発後期段階にある化合物の早期承認に取り組むとともに、開発早期段階にあるプロジェクトについては、国際共同治験や先行する海外臨床試験成績を活用して承認申請するなど、開発スピードを一層早められるよう取り組んでいます。

さらに、新薬候補化合物の導入などライセンス活動に積極的に取り組むことにより、開発パイプラインの拡充に努めています。ライセンス活動の対象となります企業が、主に欧米の製薬企業やバイオベンチャーでありますことから、昨年7月にはオノ・ファーマ・ユーエスエー インクにグローバル・新薬提携部を新設して活動の拠点を日本から米国に移し、より積極的に活動を推進しています。

営業面におきましては、当社医薬品の製品価値を一層向上させるため、研究会や講演会を中心と

した学術情報活動を積極的に展開し、多様化する医療関係者のニーズに応えられるよう、常に最新の医学に裏付けされた質の高い情報提供活動の充実に取り組んでいます。

今後とも薬価の改定や医療費を抑制するための諸施策の浸透により、少なからぬ影響を受けるものと思われませんが、新製品の市場育成と既存品の売上拡大により、安定的な成長の実現に努めていきます。

生産面におきましては、高い品質の確保を実現するため、法令等に基づき確立された製造方法の厳守や厳格な品質評価に努め、また、原材料や製品の在庫管理、施設管理の充実に図り、製品を安定して供給できるように取り組んでいます。なお、工程改善や作業の効率化などによる原価の低減にも積極的に取り組んでいます。

今後とも、高い倫理観をもってコンプライアンスを徹底し、安定した高度な品質の維持、生産性の向上、コストダウンを図るために、生産業務全般にわたり改善・改革を進めていきます。

2 利益配分に関する基本方針

利益配分につきましては、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策の一つと位置づけ、安定的な配当の継続を重視しつつ、期間業績を考慮した成果の配分を行っていきたいと考えています。